

もくじ

はじめに

- 1 安全上のご注意 …… 2
- 2 各部のなまえとはたらき… 5

使いかた

- 3 加湿のしかた …… 7
- 4 使い終わったら …… 9
- 5 お手入れのしかた …… 11

困ったときは

- 6 故障かな?と思ったら… 13

その他

- 仕様…………… 14
- 部品のお買い求め
について…………… 14
- 保証とサービスについて… 15
- 連絡先…………… 15

家庭用

スチームファン式
加湿器

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



点検・修理などを依頼されるときなどに記入しておく便利です。

| | | | |
|---------|---|---|---|
| ご購入年月日 | 年 | 月 | 日 |
| ご購入店名 | | | |
| TEL () | | | |

日本国内 100V 専用
交流 100V 以外の電源では
使用できません。

ご意見をお寄せください。

<http://www.tiger.jp/>


1 安全上のご注意


ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。


ここに表した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。

図記号の説明

 **注意**
△記号は、警告、注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

 **禁止**
⊘記号は、禁止の行為であることを示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

 **指示**
●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を示します。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷^{*1}を負うことが想定される内容を示します。

注意


取り扱いを誤った場合、使用者が傷害^{*2}を負うことが想定されるか、または物的損害^{*3}の発生が想定される内容を示します。


*1 重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。


*2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。


*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかる拡大損害をさします。


警告


 **分解禁止**
改造はしない。
修理技術者以外の方は分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。


 **必ず実施**
差込プラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。


 **禁止**
交流100V以外では使わない。
（日本国内100V専用）
火災・感電の原因。


 **禁止**
電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。
感電・ショート・発火の原因。


 **必ず実施**
定格15A以上のコンセントを単独で使う。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれ。

 **ぬれ手禁止**
ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。
感電・けがのおそれ。


 **禁止**
電源コードは、破損したまま使わない。また、電源コードを傷つけない。
（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）
火災・感電の原因。


 **禁止**
器具用プラグ（磁石式）の先端にピンなど金属片やゴミを付着させない。
感電・ショート・発火の原因。


 **必ず実施**
差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。


 **禁止**
器具用プラグをなめさせない。
乳幼児が誤ってなめないように注意すること。
感電やけがの原因。


警告


 **禁止**
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
転倒させると熱湯が出て、やけどやけがをするおそれ。


 **水ぬれ禁止**
本体を丸洗いしたり、水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電・発火・故障のおそれ。

 **接触禁止**
蒸気吹出口や本体にさわったり、顔などを近づけない。
やけどの原因。


 **必ず実施**
お手入れするときや蒸発皿に残った水をすてるときは、差込プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行う。
感電・やけど・けがのおそれ。

 **接触禁止**
運転停止直後は、本体内部に手をふれない。
やけど・けがの原因。


 **必ず実施**
異常・故障時には、直ちに使用を中止する。
そのまま使用すると、火災・感電・けがのおそれ。


 **禁止**
不安定な場所や、毛あしの長いカーペットなどの上に置かない。
転倒して熱湯が出て、やけどのおそれ。
安全装置の誤作動の原因。


異常・故障例
電源コードや差込プラグが異常に熱くなる。
電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
水タンクや本体から水もれする。
その他の異常や故障がある。
すぐに電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する。


 **禁止**
吸気カバーや蒸気吹出口・すき間に、ピン・針金など金属物（異物）を入れない。
やけどをしたり、感電や異常動作してけがをするおそれ。


注意


 **プラグを抜く**
使用時以外は差込プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。


 **禁止**
使用中や使用直後は持ち運ばない。
熱湯がこぼれ、やけどや感電の原因。
また、運転停止の原因。

 **必ず実施**
必ず差込プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火するおそれ。

 **禁止**
使用中や使用直後はお手入れをしない。
高温部にふれ、やけどの原因。

 **禁止**
この製品専用の電源コード以外は使わない。
電源コードを他の機器に転用しない。
故障・発火のおそれ。

 **必ず実施**
本体はとっ手を持って、水平に持ち運ぶ。
本体カバーや水タンクがはずれて落下し、けがのおそれ。
また、傾けたり、転倒すると熱湯がこぼれるおそれ。

 **禁止**
タコ足配線はしない。
火災のおそれ。

1 安全上のご注意

⚠ 注意



禁止

熱に弱いテーブルや敷物、床などの上で使わない。
テーブル・敷物・床の変色・変形の原因。



禁止

壁や家具・カーテン・天井などの近くで使わない。
シミがついたり、カビの発生・変形の原因。



禁止

加湿しすぎない。
長時間連続で加湿すると、結露などで室内をぬらしたり故障の原因。



必ず実施

テレビ・ラジオ・コードレス電話・エアコンなどから、1m以上離して置く。
テレビ画面のチラツキや、雑音が入るなど電波障害の原因。



禁止

本体内部のお手入れに塩素系、酸性タイプの洗剤やクエン酸は使わない。
洗剤から有害ガスが発生し、健康を害したり、故障の原因。

未永くご使用いただくために、必ずお守りください

プレフィルターはこまめにお手入れする。
使用環境によってほこりがたまり、本体内部が変形し、故障・事故の原因。(お手入れのしかたはP.11参照)

吸気カバー・蒸気吹出口をフキンなどでふさがない。
本体内部の温度が上がって、本体内部が変形し、故障・事故の原因。

カーテンの近くで使用しない。
吸気カバーがふさがって吸気性能が低下し、本体内部の温度が上がって、本体内部が変形し、故障・事故の原因。

水タンクおよび本体内部に水道水以外の水やお湯を入れない。
・浄水器の水・アルカリイオン水・ミネラルウォーター・井戸水・汚れた水などを入れると、カビや雑菌が発生しやすい原因。
・お湯(40以上)や化学薬品・芳香剤・アロマオイル・洗剤を入れた水を入れると、本体が変形し、故障の原因。

水タンクの水は毎日新しい水道水と交換する。
本体内部に残った水は毎日すてる。
また本体内部は週2回程度、定期的にお手入れする。
汚れや水アカで性能が低下したり、悪臭がするおそれ。本体内部で水アカが膜状になって付着し、蒸気吹出口から風とともに吹き出すおそれ。

直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くで使わない。
水タンク内の空気が膨張し、本体から水があふれるおそれ。また、プラスチック部分の変形・変質の原因。

クリーニングフィルターはこまめにお手入れする。
蒸発皿の汚れが取れにくくなり、加湿量の低下やカビ、雑菌の繁殖による悪臭、故障の原因。

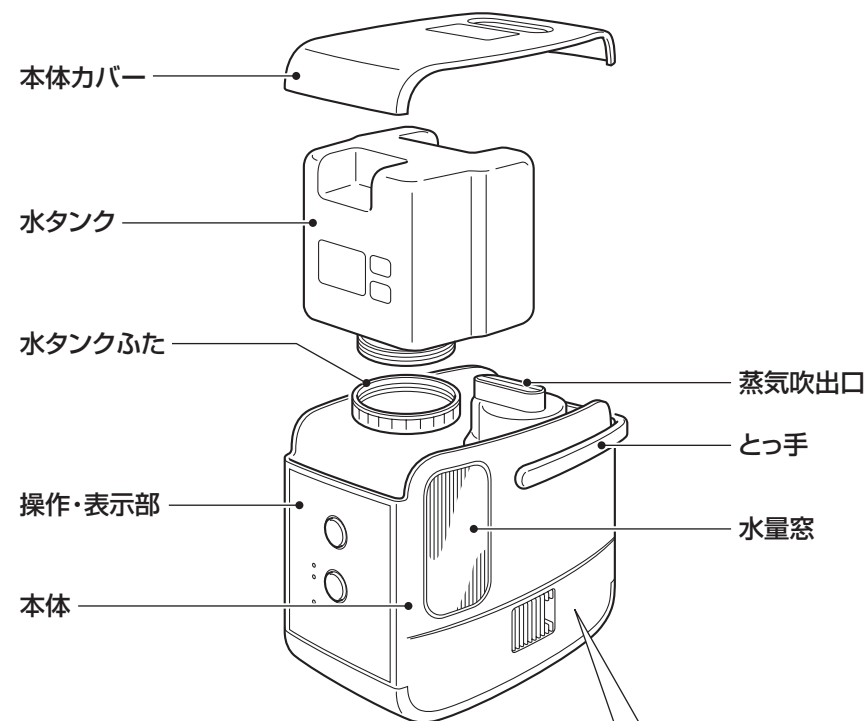
クリーニングフィルター・吸気カバー・水路カバー・プレフィルター・蒸気カバーをはずしたまま使わない。
性能が発揮されず、水あかやほこりがたまり、故障の原因。

凍結しないように、使わないときは、水タンク・本体内部の水をすてる。
凍結したまま使うと故障の原因。

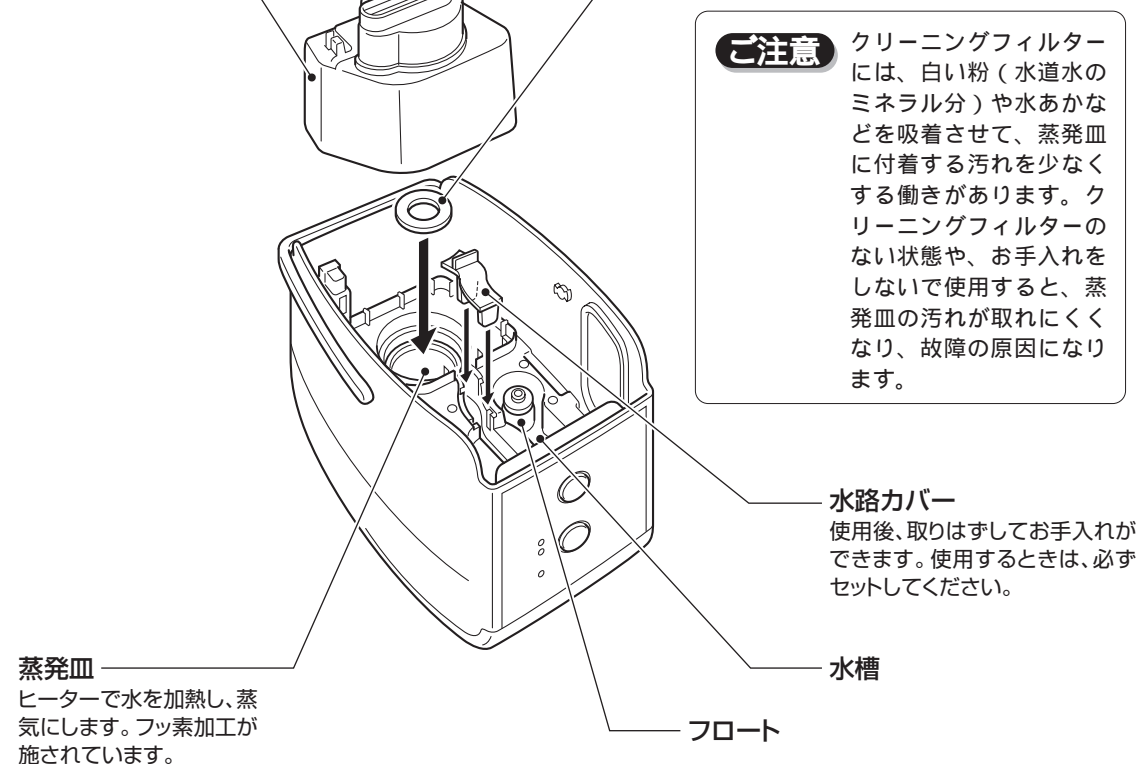
安定した台の上に設置する。
設置面が水平でないと、製品の振動により水がこぼれるおそれ。

本体をさかさにしない。
故障の原因。

2 各部のなまえとはたらき



蒸気カバー クリーニングフィルター(付属品)

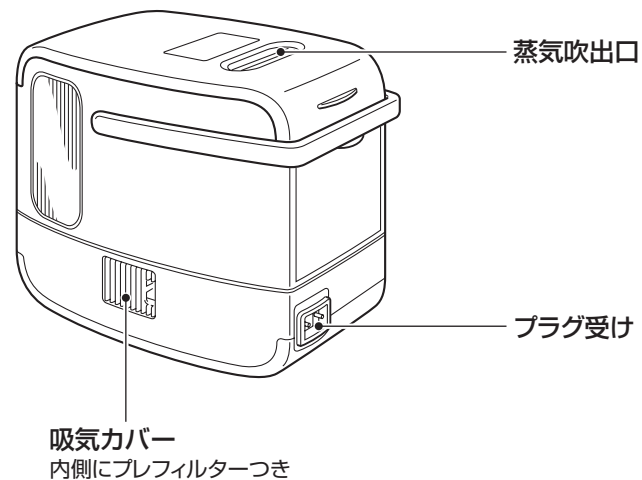


ご注意 クリーニングフィルターには、白い粉(水道水のミネラル分)や水あかなどを吸着させて、蒸発皿に付着する汚れを少なくする働きがあります。クリーニングフィルターのない状態や、お手入れをしないで使用すると、蒸発皿の汚れが取れにくくなり、故障の原因になります。

蒸発皿
ヒーターで水を加熱し、蒸気にします。フッ素加工が施されています。

水路カバー
使用後、取りはずしてお手入れができます。使用するときには、必ずセットしてください。

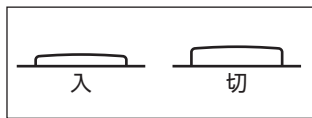
2 各部のなまえとはたらき



操作・表示部

入/切 キー

運転の「入」「切」を切り替えます。運転を「入」にすると、運転モードランプが点灯します。



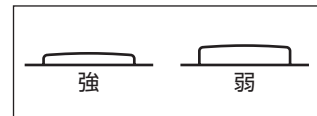
入/切

運転モードランプ



運転切替 キー

運転モードの「強」「弱」を切り替えます。

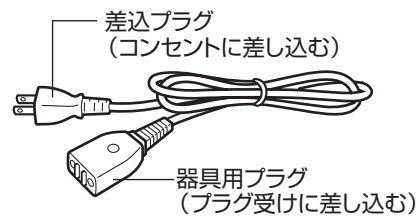


給水ランプ

水タンクをセットしていないとき、および水タンクの水がなくなると点灯します。

給水

電源コード



付属品

クリーニングフィルター (2枚)

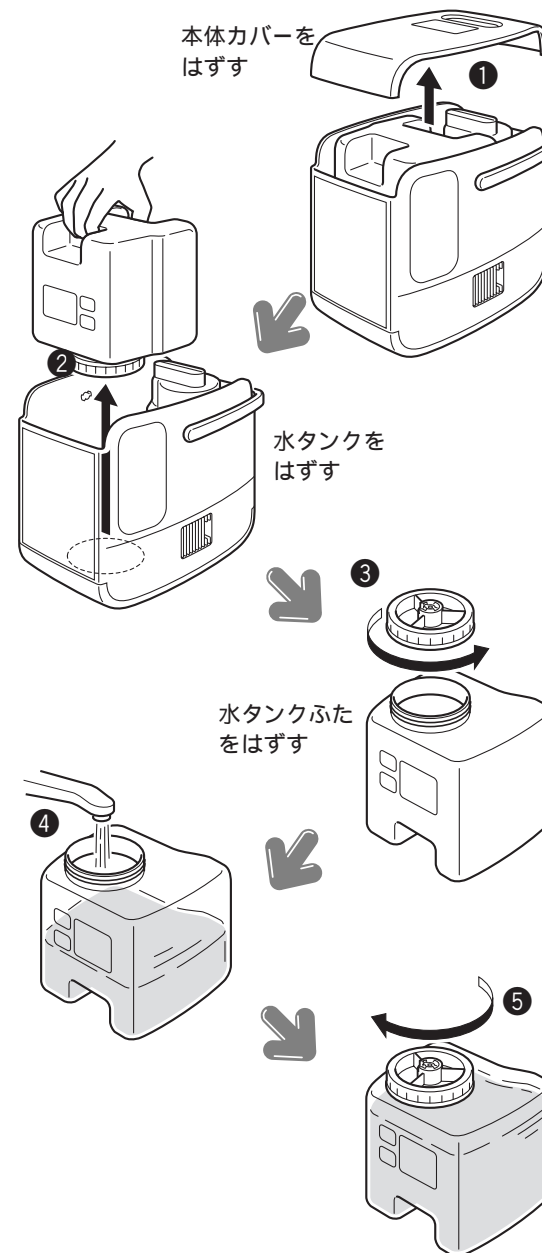
蒸発皿にのせます。(1枚は予備品です。)



3 加湿のしかた

1 水タンクを取り出して水道水を入れる

水は、水タンクの1/2から満水までの間に入れます。

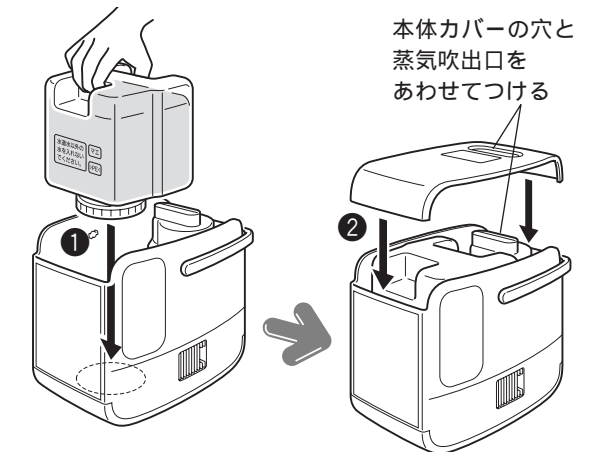


本体カバーをはずす

水タンクをはずす

水タンクふたをはずす

2 水タンクを本体にセットして本体カバーをつける



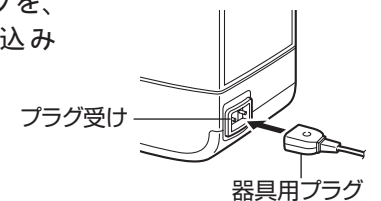
本体カバーの穴と蒸気吹出口をあわせてつける

ご注意

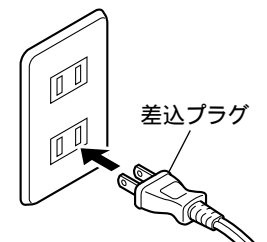
蒸気カバー・クリーニングフィルター・水路カバーが正しく取り付けられているかを確認してから水タンクを取りつけてください(P.10参照)。正しく取り付けられていないと、十分な加湿ができない、また故障の原因になります。

3 電源コードを接続する

1 器具用プラグを、本体に差し込みます。



2 差込プラグをコンセントに差し込みます。



ご注意

水を入れた後、水タンクふたをしっかりとしめ、水もれないことを確認してください。

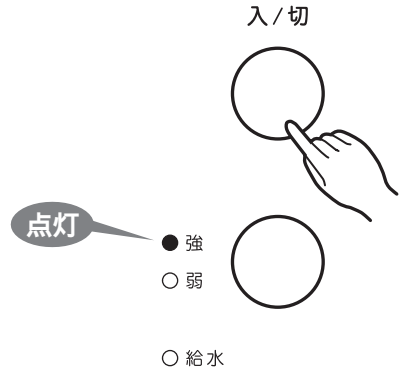
ご注意

器具用プラグには、磁石がついています。ピンなどの金属片やゴミが付着していないか確認してから差し込んでください。

3 加湿のしかた

4 運転を「入」にする

入/切 キーを押して「入」にします。運転モードランプが点灯し、加湿が開始されます。



はじめにお使いになるときに、煙が出たり、においがすることがありますが、故障ではありません。また樹脂などのにおいがすることもありますが、ご使用とともに少なくなります。

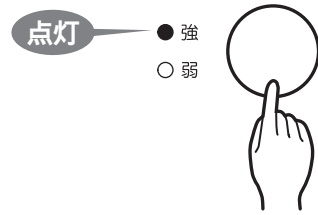
ご注意 水タンクをセットした直後、**入/切** キーを押すと給水ランプが点灯することがありますが、しばらくして水タンクの水が水槽を満たすと給水ランプが消えます。

音 運転中に「ブーン」という音がしますが、ファンが作動している音で、異常ではありません。

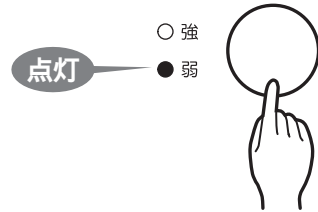
5 運転モードを選ぶ

運転切替 キーを押して選びます。押すごとに「強」「弱」が切り替わります。

「強」運転の場合



「弱」運転の場合



水が少なくなったら...

給水ランプが点灯し、運転が自動的に止まります。



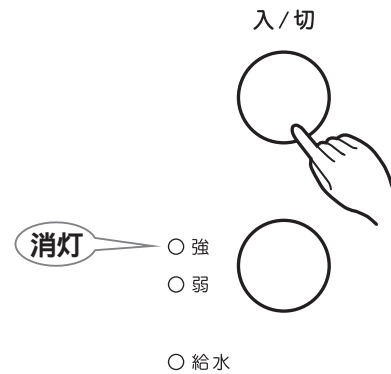
ご注意 続けて使用する場合は、いったん運転を切り、本体が冷めてから蒸発皿・水槽・本体内部に残った水をすててください(P.10参照)。その後、水タンクに水道水を補給してお使いください(P.7参照)。

4 使い終わったら

ご注意 違った方向から水をすてると、熱湯が手にかかってやけどをしたり、故障の原因になります。水タンクの水は毎日新しい水道水と交換してください。蒸発皿・本体内部・水槽に残った水は毎日すててください。変色やにおいの原因になります。

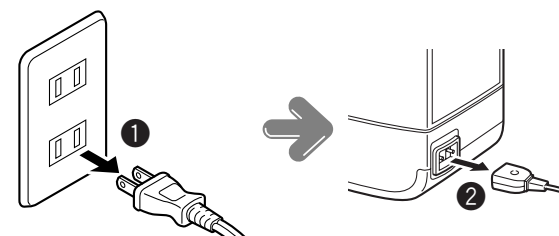
1 運転を「切」にする

入/切 キーを押して、「切」にします。運転モードランプが消灯します。

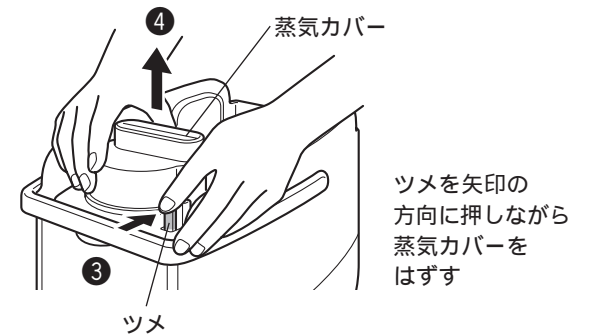
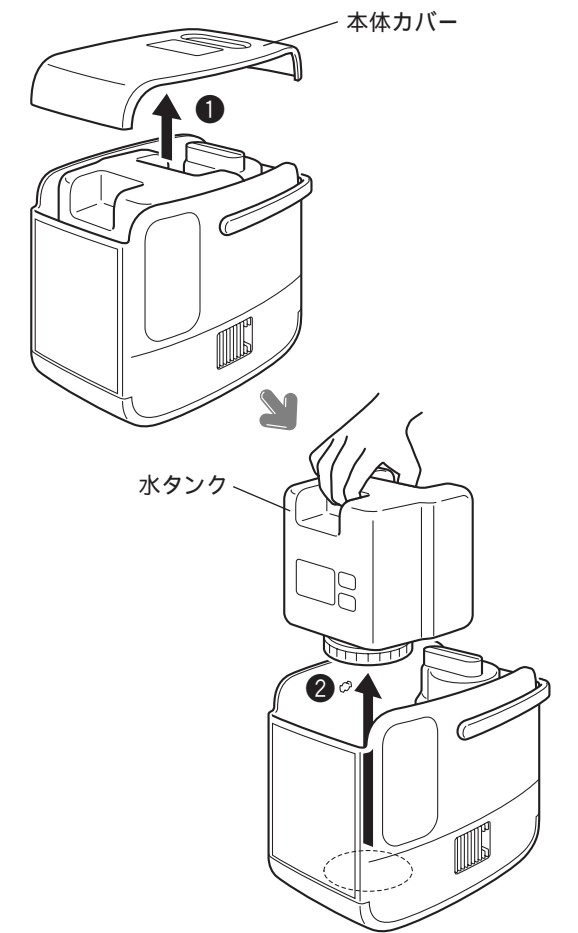


ご注意 プラグをはずして、運転を停止しないでください。

2 電源コードのプラグをはずす

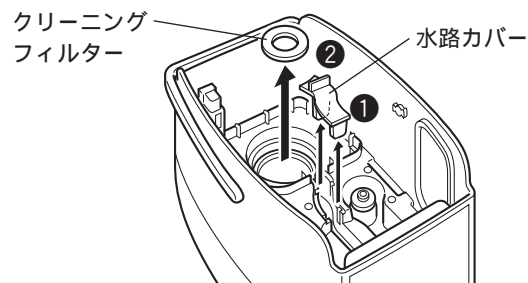


3 本体が冷めた後、本体カバー・水タンク・蒸気カバーをはずす

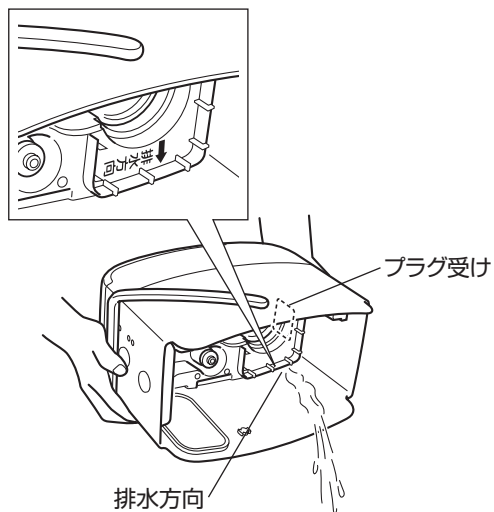


4 使い終わったら

4 水路カバーとクリーニングフィルターをはずす



5 本体内部に残った水をすてる

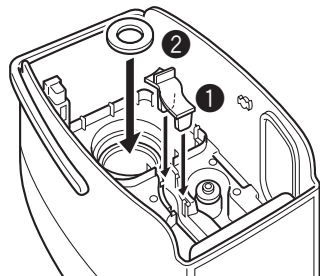


ご注意

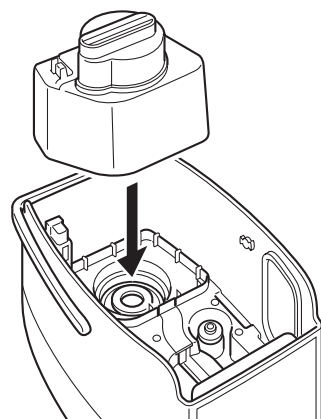
水をすてるときは、必ず本体の「排水方向」の方向からすてる。違った方向から水をすると、お湯が手にかかってやけどをしたり、故障の原因。プラグ受けに水がかからないようにすてる。故障の原因。

6 水路カバーをつけ、クリーニングフィルターをのせる

水路カバーのツメを、本体のミゾにはめ込みます。



7 蒸気カバーをつける



8 水タンクと本体カバーをセットする(P.7参照)

5 お手入れのしかた

いつまでも清潔にご使用いただくためにお手入れは定期的に行ってください。

プラグを抜き、冷えてからお手入れする。
スポンジ・布はやわらかいものを使う。

常に清潔に保ち、性能低下、悪臭を防止するためにこまめにお手入れをすることをおすすめします。

水タンクの水は毎日新しい水道水と交換する。蒸発皿・本体内部・水槽に残った水は毎日すてる。また本体内部は週2回程度定期的にお手入れする。そうしない場合、本体内部で水アカが膜状になって付着し、蒸気吹出口から風とともに吹き出すことがあります。

ご注意

シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。食器洗浄機や食器乾燥器、熱湯などは使わない。水タンクのつけおき洗いはしない。本体・電源コード・差込プラグを水につけたり、水をかけたりしない。

| | | | | |
|------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|-------------|
| 週2回程度お手入れする部品・箇所 | 水タンク | 水タンクに水を入れ、十分にすすぎ洗いをする。 | 汚れるたびに お手入れする箇所 電源コード 差込プラグ 器具用プラグ | 乾いた布で ふく |
| | クリーニングフィルター | 水道水で手もみ洗いする。 | | |
| 週1回程度お手入れする部品 | 本体・本体カバー | 本体外側・本体内部は、本体内部に残った水をすててから、よくしぼったフキンで汚れをふき取る。水路は、水路カバーをはずして、割りばしなどに布をまきつけて汚れをふき取る。蒸発皿は、よくしぼったフキンで汚れをふき取る。 | 水路 | 蒸発皿 |
| | 吸気カバー・プレフィルター | はずして、吸気カバーは水でスポンジを使って洗い、乾いた布でふく。プレフィルターは水道水で手もみ洗いし、充分乾燥させてから必ず取りつける。吸気カバーの取りはずし・取り付けかたは、P.12参照。 | | |
| 月2回程度お手入れする部品 | 蒸気カバー | 水でスポンジを使って洗い、乾いた布でふく。蒸気カバーは、上・下に分解してお手入れできます。蒸気カバー(上・下)の取りはずし・取り付けかたは、P.12参照。 | | |

ご注意

本体の丸洗いはしないでください。本体の内部に水が入り、故障の原因になります。蒸発皿はこまめにお手入れしてください。フッ素加工されていますが、長期間お手入れしないと、汚れがこびりついて落ちにくくなります。

ご注意

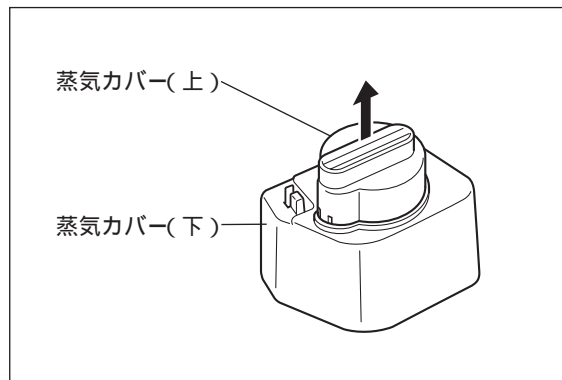
吸気カバー・プレフィルターの汚れがひどくなると、蒸気が出なくなったり、故障の原因になります。

5 お手入れのしかた

蒸気カバー（上・下）の取りはずし・取り付けかた

取りはずしかた

蒸気カバー（上）を、上方向にはずす。



取り付けかた

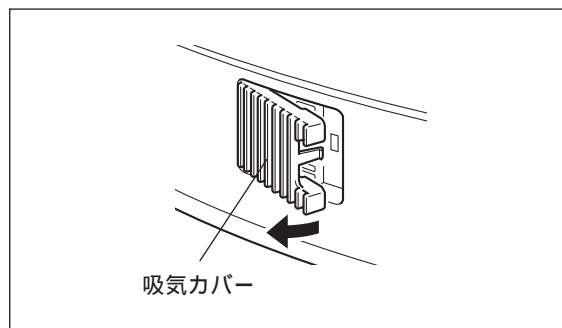
蒸気カバー（上）の2つのツメを、蒸気カバー（下）の穴にはめ込んでつける。



吸気カバーの取りはずし・取り付けかた

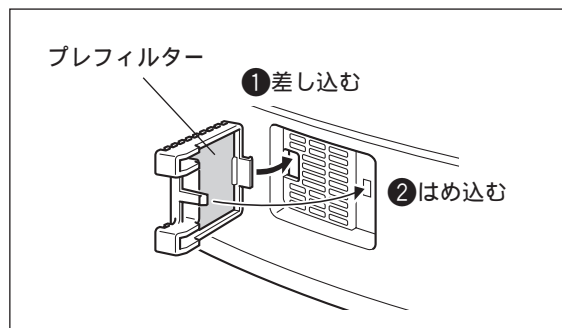
取りはずしかた

手前に引いてはずす。



取り付けかた

吸気カバーのツメを、本体にはめ込んで取り付ける。



長期間ご使用にならないときは...

お手入れ後、各部についた水を乾いた布でふき、日陰で自然乾燥してください。
 (特に本体内部・クリーニングフィルターは十分に)
 クリーニングフィルターは本体から取りはずしてください。
 保管するときは、ポリ袋などで密封し、湿気の少ないところで保管してください。

ご注意 湿ったまま保管しないでください。カビの発生する原因になります。

6 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。

| こんなときは | ここを確認して | こう処置してください | 参照ページ |
|-----------------------|-----------------------------------|-----------------------------------------------------|--------|
| 電源を「入」にしても運転しない | プラグがはずれていませんか。 | プラグを接続してください。 | 7 |
| | 給水ランプが点灯していませんか。(水タンクに水は入っていますか。) | 水タンクに給水し、本体にセットしてください。 | 6~8 |
| | 水タンクを本体からはずしていませんか。 | 水タンクに給水し、本体にセットしてください。 | 7・8 |
| 蒸気が出ない | 水タンクがカラになっていませんか。 | 水タンクに水を半分以上入れてください。 | 7・8 |
| | 蒸気カバーが本体に正しく取り付けられていますか。 | 蒸気カバーを本体に正しく取り付けてください。 | 10 |
| 水タンクに水があるのに給水ランプが点灯する | 水タンクをセットした直後ではありませんか。 | しばらくして水タンクの水が水槽を満たすと、給水ランプが消えます。 | 8 |
| | 不安定な場所や、本体を傾けて置いていませんか。 | 本体内部の水をすて、水平な場所に本体を置いてください。 | 3・10 |
| 湿度が上がらない、または水が減らない | 部屋が広すぎませんか。 | 適用床面積の範囲でお使いください。 | 14 |
| | 換気をしていませんか。 | 窓・戸を開けてお使いください。 | - |
| においが出る | 本体内部・水槽が汚れていませんか。 | 本体内部・水槽のお手入れをしてください。 | 11 |
| | 水タンク・本体内部・水槽の水を放置したままになっていませんか。 | 水タンクの水は毎日新しい水道水と交換してください。また、本体内部・水槽に残った水は毎日すててください。 | 9~11 |
| 水もれする | 水タンクふたを、しっかり閉めていますか。 | 水タンクふたを、しっかり閉めて本体に取りつけてください。 | 7 |
| | 水タンクふたのパッキンが傷んでいませんか。 | 新しいパッキンと交換(有償)する。 | 14 |
| | 蒸気カバーが本体に正しく取り付けられていますか。 | 蒸気カバーを本体に正しく取り付けてください。 | 10 |
| 蒸気吹出口以外の部分から蒸気もれる | 水路カバーがセットされていますか。 | 本体内部の水をすて、水路カバーをセットしてください。 | 5・9・10 |
| 蒸発皿・水槽・本体内部に異物がたまる | 蒸発皿・水槽・本体内部を定期的にお手入れしていますか。 | こまめにお手入れしてください。 | 11 |
| | 水道水以外の水を水タンクに入れて運転していませんか。 | 必ず水道水を使ってください。 | 4・7 |

| こんなとき | 理由 | 参照ページ |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------|-------|
| 樹脂などのにおいがする。 | はじめてお使いになるときに、樹脂などのにおいがすることがありますが、故障ではありません。ご使用とともに少なくなります。 | - |
| プラスチック部分に線状や波状の箇所がある。 | 樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。 | - |

仕様

| | | |
|----------------------------------|---------------------|---------------------------------------------------|
| 電源 | 100V 50-60Hz | |
| 消費電力 | 強 295W 弱 150W | |
| 加湿量 ¹ | 強 350mL/h 弱 150mL/h | |
| 連続加湿時間 ^{1 2} | 強 8時間 弱 18.5時間 | |
| 適用床面積 (目安) (使用状況、環境により異なります。) | 木造和室 | 強 ~ 6畳 (10m ²) 弱 ~ 4.5m ² |
| | プレハブ洋室 | 強 ~ 10畳 (16m ²) 弱 ~ 6.8m ² |
| 水タンク容量 ¹ | 2.8L | |
| 外形寸法 ¹ 幅×奥行×高さ | 20.2×31.0×24.9cm | |
| 質量 ¹ | 3.1kg | |

1 おおよその数値です。

2 水量:満水、水温・室温:20℃、電圧:交流100V

部品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口でお買い求めください。

クリーニングフィルター (消耗部品)

ご使用にともない傷んできたり、汚れや破損がひどくなったときは交換してください。また上記までご相談ください。廃棄するときは、不燃物ゴミとして捨ててください。

| 部品名 | 部品番号 |
|-------------|---------|
| クリーニングフィルター | ASZ1021 |

樹脂部品 (傷んできたとき)

熱や蒸気にふれる樹脂部品や水タンクふたのパッキンは、ご使用にともない傷んでくる場合があります。上記までご相談ください。

保証とサービスについて

修理を依頼される前にまず「故障かな?と思ったら」(P.13)をご覧ください。それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はご購入の日から1年間です。(消耗部品は除きます。)

保証書の記載内容に基づき、お買い上げの販売店が修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼される時

保証期間内 おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間を過ぎていたとき まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。
製品名 品番 製品の状況(できるだけくわしく)

4 スチームファン式加湿器の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料 不具合内容の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業(修理および部品交換・調整・修理後の点検など)の料金です。

部品代 製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口(下記)までご相談ください。

本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社

本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間 AM9:00~PM5:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除きます)

※携帯電話・PHSとIP電話等(ナビダイヤルを利用できない電話)の方はこちらへ TEL(06)6906-2121

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス <http://www.tiger.jp/>